

地域生活交通の維持・確保に向けての意見交換  
(サウンディング型市場調査)の結果

1 市場調査の目的

地域(特に中山間地域)における生活交通を将来にわたって安定して維持・確保していくためには、地域住民(まちづくり協議会)だけの取り組みでは限界があり、民間事業者の優れた技術やノウハウを生かしていくことが重要と考えています。

地域生活交通を取り巻く環境は年々厳しくなっていることから、早急に実践的で効果的な民間手法の導入に向けて、事業者と直接対話し、令和6年度以降の施策に反映することをめざしサウンディング型市場調査を行いました。

2 実施期間 令和5年10月10日～11月15日

3 参加事業者 3社(コンサル1社、情報関連1社、自動車関連1社)

4 いただいた主な意見

- ・各所で展開されている共助交通の業務は共通であり一本化は可能となる。
- ・エリアを超えて、人や車両をシェアすることも検討できる
- ・高齢化による運転手不足は大きな課題。効率的な運行体制の検討を。
- ・オンデマンドの仕組みを導入することで効率化が図れないか。
- ・民間のノウハウを生かすことが必要ではないか。 など

5 意見交換をふまえた今後の方針(案)

持続可能な地域交通に向けて、民間のノウハウを生かした業務効率化を行うことで、地域の負担軽減を図っていきたいと考えます。

6 その他

市場調査に掲げたテーマのうち、「青谷地域における路線バスの代替交通について」は、参加者がありませんでした。(関連しての意見はいただきました。)

ご協力いただいた事業者様、ありがとうございました。意見交換の結果をふまえて、今後の事業展開を検討していきます。